

人々を魅了し続け受け継がれてきた匠の技は今も輝く

秘窯の里で伊万里焼の歴史に触れる



1675年佐賀鍋島藩は藩窯を有田から大川内山へ移し、より高い品質の保持と技法の維持に努めました。そしてその技法が他に漏れないように険しい地形を利用し、入口には関所を設けて職人たちを厳重な監視下に置いていました。

藩窯の職人たちは、大名や将軍家、朝廷に献上する品々を類い希な技術と情熱で明治まで焼き続けたのです。

今では、それらの焼物は鍋島と呼ばれていますが、その技法を受け継いだ窯元群があるのが大川内山で、現在の伊万里焼の中心となっています。

大川内山は多くの窯元が谷間に軒を連ね、路地裏にも華麗な焼物が並んでいます。また、鍋島藩窯公園の深い森の中に色々なオブジェや江戸時代の窯跡があり、時間を忘れて焼物三昧が楽しめます。

詳しくはP.7へGO!!



伊万里焼の特徴

伊万里焼は、鍋島の系譜を引き継いでいますので、特徴として大きく三つに分けることができます。



鍋島染付
透明感のある白磁に、藍一色の染付を施します。この染付に使う呉須の色が特徴で、凛とした美しさが醸しだされています。



鍋島青磁
大川内山から産出する青磁原石を用い、何度も青磁釉をかけては焼き、艶やかで神秘的な、独特の色合いがもたされます。



色鍋島
白磁の肌に染付で文様を描き、本焼きをした後、赤・黄・緑を挿し調にした上絵を施して、再度焼き上げます。陶磁器の最高峰として、その美しさを誇っています。

伊万里のツボ その1 古伊万里と伊万里焼は似て非なるモノ

古伊万里: 江戸時代、肥前地区で焼かれた焼物(磁器)は、伊万里の港から積み出され、国内はもちろん、遠くヨーロッパまでも運ばれたので、伊万里が焼物の代名詞となり、これらの焼物の総称が「古伊万里」と呼ばれています。

鍋島: 日本で最初に磁器を完成させた鍋島藩は、「藩窯」を組織し、大名や将軍家、朝廷に献上するための高品質な焼物を、明治4年まで焼き続けました。この焼物が鍋島と呼ばれています。

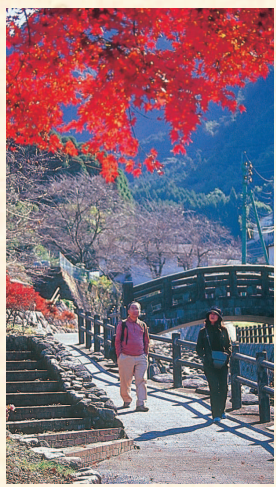
散策 大川内山は狭い谷間に、窯元や藩窯公園があり、一巡して楽しめます。
景色は山水画のような奇岩と窯場の煙が、四季を通じて秘窯の里ならではの演出をしてくれますが、雨上がりの霞の中に見ると感激です。また、焼物に描かれている色々な花や草木が、藩窯公園の中に植えられていたり、青螺山には昔のままの自然の中で、小鳥が囀っています。

伊万里のツボ その2 数々の賞に輝いた秘窯の里 大川内山

- 1995年 優秀観光地づくり賞
 - 1996年 残したい日本の音風景百選
〃 手づくり郷土賞
 - 2002年 美しい日本の歩きたくなる道500選受賞
〃 かおり風景百選
 - 2003年 鍋島窯跡国史跡指定
 - 2009年 22世紀に残す佐賀県遺産指定
- など多くの賞を受賞しました



献上焼



ボン灯ろうまつり



窯元市



イベント 大川内山では毎年4月に「春の窯元市」、11月に「鍋島藩窯秋まつり」と年に2回窯元市が開かれ、どちらも多くの焼物ファンで賑わいます。春の窯元市の期間中は、「国際アマチュア陶芸展」も開催され、全国のアマチュア陶芸家からたくさん作品が寄せられています。鍋島藩窯秋まつりでは、大川内山に伝わる鍋島の伝統を受け継ぐために、古式にのっとった「火起こし式」や「献上焼」など各種の行事と共に、窯元市も開催されます。もちろん窯元市以外にも一年中窯元直売ならではの魅力がいっぱいです。

- 2月中旬～3月中旬 磁器ひいなまつり
- 4月1日～5日 春の窯元市
- 4月第2日曜 無縁塔祭
- 6月中旬～8月31日 風鈴まつり・ボン灯ろうまつり(日時不定)
- 10月23日～24日 岳神社祭り
- 11月1日～5日 鍋島藩窯秋まつり



「知る」「見る」「体感する」ならココで決まり



伊万里・有田焼 伝統産業会館
伊万里・有田焼伝統産業会館には焼物資料室があり、古伊万里や鍋島が展示されています。また、伊万里焼の製作過程や焼物の道具なども展示、説明されています。

見学

陶石を砕いた胎土を、ろくろで形成します。陶器用の胎土より粘りが無く、成形は難しいのですが絶妙な技で次々に作られていく様を見ていると、時間を忘れてしまいます。
伝統的な文様から、斬新な文様まで、一つひとつ手書きで描かれています。静かな絵付けの工房は、それだけで緊張してしまいます。



大川内山でも薪で焼く窯元は減っていますが、藩窯公園にある登り窯では、年に数回運行しており、見学の他、体験することもできます。
※見学ご希望の方は伊万里鍋島焼会館へお問い合わせください。

体験 ・ロクロ体験(大秀窯、虎仙窯)
・絵付体験(伊万里・有田焼伝統産業会館、大秀窯、せいら、瀬兵衛)

※体験ご希望の方は各窯元へご予約お問い合わせください。



- こちらでも体験教室やっています
- 海のシルクロード館
詳しくはP.9へGO!!
- 伊万里ふるさと村(道の駅)
詳しくはP.15へGO!!



買う・食す

伊万里鍋島焼会館には、各窯元の代表的な焼物が展示販売されています。また、軽食も伊万里焼の器で楽しめます。



伊万里鍋島焼会館
TEL 0955-23-7293



鍋島藩窯公園

この公園は、秘窯の里大川内山の歴史文化資産の保護顕彰と、憩う施設を有機的に配置したもので、焼物の里ならではの特色ある公園です。

鍋島藩として栄えた歴史と、土と炎の芸術「伊万里焼」の全てが息づいています。

大壁面

展望広場の入口に、陶片とトンバイ(焼煉瓦)で登り窯をアレンジした壁面のモニュメントです。



陶工の庭と唐臼

当時、陶石を砕いていた唐臼が復元され、めおとしの塔が澄んだ音を響かせています。



御細工場と陶工の家

藩窯当時の建物を再現しています。



ポケットエリア

自然の中に、焼物のオブジェがあります。



登り窯

昔ながらの薪で焚く登り窯で、藩窯で培われた技法により、献上品の焼成などに使用されています。



古窯跡

藩窯公園では、お経石窯跡と清原窯跡の2カ所が発掘調査されています。

伊万里焼のルーツに触れて・見て・知って楽しもう

大川内山で焼物三昧!



焼き物を叩いて音色で選別した『めおとし』の技を再現!

陶工橋を渡る白磁の風鈴が風もないのに優雅に鳴ります。鍋島藩窯時代から焼き物を叩いてその音色で選別していた『めおとし』の技を先端技術のICを使い再現したものです。日本の音風景100選の風景と白磁大型風鈴が奏でる澄み切った音色をお楽しみ下さい。



※市外局番はすべて0955

1 冬山窯 [とうざんがま] TEL 22-6303
色鍋島、青磁、透かし彫りの香炉で、香りと共に格調高い、空間の演出をどうぞ。

4 杓土窯 [さくちがま] TEL 22-4395
数十種のオリジナル釉薬を使った、ちょっと他ではご覧にならない器をどうぞ。

7 太一郎窯 [たいちろうがま] TEL 22-4603
藍鍋島の伝統に、手描きの妙と現代感覚を取り入れた器を創っています。

10 伊万里陶苑 [い万里とうえん] TEL 22-3080
グッドデザイン選定品をはじめ、伝統ある基盤の上に新しい感覚を注ぐ器。

13 瀬貞陶窯 [せてんとうがま] 寛右エ門 TEL 23-0344
歴史の流れを培ってきた濃筆の冴え、手描きの深い味わいが輝きます。

16 鍋島御庭焼 [なべしまごていようがま] TEL 23-2786
大名道具を作り出した手法が、今も生き続ける奇跡の焼物(鍋島・色鍋島)

19 川副青山窯 [かわさせやまがま] TEL 23-2366
代々鍋島の由緒ある伝統を守り、天然青磁による翡翠の如き作品は定評です。

22 是隆窯 [せりゅうがま] TEL 23-3323
毎日使う器の中に「やさしさ」を追求しています。是非、お立ち寄り下さい。

25 岳山窯 [たけやまがま] TEL 23-2783
「鍋島的美」を追求し手描きの技法に拘り、つと類のない作品を創っています。

28 光山窯 [こうざんがま] TEL 23-2035
鍋島藩窯継承家、市川光山オリジナル作品「色鍋島帯絵唐花文耳付花瓶」

2 大秀窯(天青) [おおしゅうがま(てんせい)] TEL 23-1002
鍋島青磁、色鍋島、鍋島染付の技法にあふ鍋島を創作しています。

5 巒山窯 [らんざんがま] TEL 23-5146
豊は小さく鋭い山、巡り連った山。大川内山の山容そのものです。

8 畑萬陶苑 [はたまんとうえん] TEL 23-2784
鍋島藩窯の伝統美や技術を受け継ぎ、新しい色鍋島の確立を図っています。

11 せいら(徳永窯) [せいらがま(とくなが)] TEL 23-2656
身近な器に、伝統の鍋島を素材で生かし、現代的な色調をアレンジしています。

14 富永窯 [とみなががま] TEL 22-2360
伝統の鍋島文様を入れながら、現代にも合う装飾品、器を創っています。

17 虎仙窯 [こせんがま] TEL 22-3095
つくる楽しさを感じていたけり、現代にも作品づくりに取り組んでいます。

20 小笠原藤右エ門窯 [おがさわらとうえんがま] TEL 23-2282
総合鍋島(色絵・青磁・染付)の確立、向上に日々研鑽しています。

23 陶房大林 [とうぼうおほいらい] TEL 23-0153
一期一会を大事にし、良い物を一品作っています。

26 大五窯 [たいごがま] TEL 22-2043
女性ならではの、繊細な造形を活かして書物を主に制作しています。

29 大五郎窯 [たいごろうがま] TEL 23-4090
全工程を大五郎一人の手により、一点一点心を込めて作り上げてあります。

3 玄太夫窯 [げんたうがま] TEL 23-4802
鍋島天然青磁窯元。土と炎の世界で戯れた芸術釉薬、古染付。

6 魯山窯 [らんざんがま] TEL 20-1366
限り有る資源を大切に、伝統技術を活かし、一品一品心をこめて造ります。

9 陶咲花 [たうさけがな] TEL 22-8055
伝統の中に、女性独自の思考で新風を吹き込み、手作りの器を手懸けています。

12 翠山窯 [すいざんがま] (山本製陶所) TEL 23-2560
江戸中期創業以来、常に伝統の中に現代感覚を執り入れるよう精進しています。

15 泰仙窯 [たいせんがま] TEL 23-4676
鍋島の由緒ある伝統と技法を、伝統工芸士として丹念に創作しています。

18 螺山窯 [らざんがま] TEL 23-2652
純然たる手作り、手描、和紙染の創作藍鍋島等、薪窯に焼成しております。

21 三宅窯 [みやけがま] (三宅製陶所) TEL 23-4545
染付青磁、古染の世界で、庶民の雑器として技術の向上に励んでいます。

24 瀬兵衛(陶笛) [せべゑ(たうふえ)] TEL 23-2278
時代を越え、今に息づく神祕とロマンのペール(伊万里)

27 長春青磁陶窯 [ちやうしんせいじとうがま] TEL 22-2039
大川内山に産出する青磁磁石を百パーセント使った、天然の鍋島青磁専門です。

30 陶芸館 伊万里 [たうげんかんと(い万里)] TEL 22-6393
大川内山を一望出来る、高台の当館では、様々な器との出会いを楽しめます。

秘窯の里の思い出に...
おみやげ人気アイテム

- ▲伊万里人形(耳かき)
- ▲マグネット
- ▲携帯ストラップ
- ▲風鈴

きつと御利益があるニヤ
招き猫

秘窯の里 大川内山 窯元のご案内

やきもの三昧エリア 大川内山 鍋島藩窯公園・窯元めぐり 伊万里観光ガイドブック ぶらりいまりめぐり